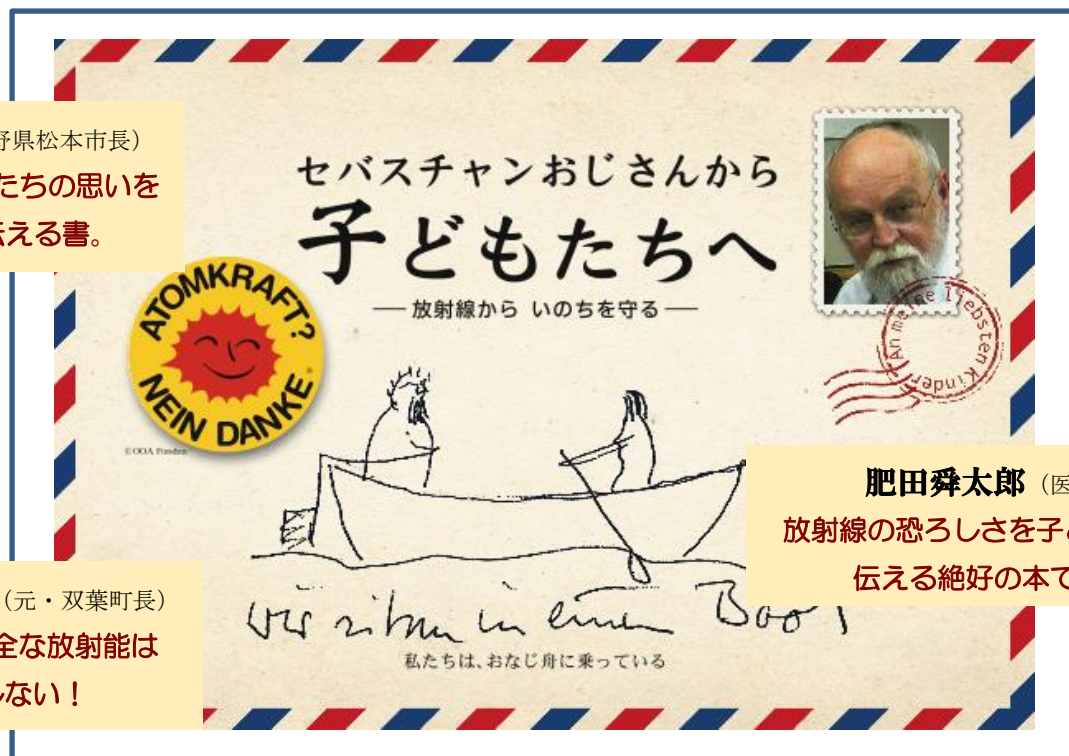


4月10日発売！ 未来を担う子どもたちへ贈る新刊

菅谷 昭 (長野県松本市長)  
勇気ある大人たちの思いを  
次世代に伝える書。



肥田舜太郎 (医師)  
放射線の恐ろしさを子どもたちに  
伝える絶好の本です。

井戸川克隆 (元・双葉町長)  
地球上に安全な放射能は  
存在しない！

# セバスチャンおじさんから 子どもたちへ

= 放射線からいのちを守る =

セバスチャン・プフルークバイル (ドイツ放射線防護協会会長) 訳 エミ・シンチンガー

福島原発事故による放射線からいのちを守るために・・・

子どもたちに知ってもらいたいこと。 原子力発電について考えてもらいたいこと。

チェルノブイリ事故を経験したドイツ人研究者からの手紙。

【著者プロフィール】 1947年生まれ。物理学博士。ドイツ放射線防護協会会長。ボンにあるオット・フーク放射線研究所会員、欧州放射線リスク委員会 (ECRR) 理事。1989年東ドイツ民主化運動で最初に設立された市民団体「ノイエス・フォーラム」の共同設立者。ベルリンの壁崩壊後、ハンス・モドロウ政権下で東ドイツのエネルギー政策を改革する目的で数か月間大臣を務める。1991～95年ベルリン市議会議員。1990年ベルリンで市民団体「チェルノブイリのこどもたち」を立ち上げるとともに、ドイツ・チェルノブイリ支援協会 (ミュンヘン) の理事を務め、事故周辺地域の子どもの社会復帰活動を行った。

注 文 書	セバスチャンおじさんから 子どもたちへ 放射線からいのちを守る	注文 冊	お客様名 書店名
	定価 950円+税 ISBN978-4-8451-1313-2	☎	
	発行：岐阜環境医学研究所 発売：(株)旬報社		
	旬報社 TEL：03-3943-9911 FAX：03-3943-8396		

ご購入の際は、最寄の書店にお申込みください。 旬報社か岐阜環境医学研究所でも受付けています (要送料)。